

岩内町地域公共交通計画 登載事業進捗状況

資料 4

1/2

施策・事業	R3年度	R4年度	R5～R7年度	令和5年度の実施状況	事業の進捗状況 (A～Eの5段階)	関連する公共交通機関					
						ノッタ ライン	乗合 タクシー	路線バス	ハイヤー・ タクシー	自家用 有償運送	その他
基本方針1	(1) 円山地域乗合 タクシーの運行	実証運行の実施 料金・ルートの変更	本格運行の開始 毎年度利用者数や料金収入等の推移を検証	令和5年6月から本格運行開始となった。引き続き利用者数や料金収入等々の推移を検証していく。	B		○				
	(2) 町内路線網の 検証・再編の実施	前回計画から継続して実施 毎年、町内路線全体の路線網の検証・再編を行う		町内路線全体の路線網の検証・再編を継続して実施している。	B	○	○				
	(3) クロスセクター 効果の検証	いわない循環バス 「ノッタライン」について検証	円山地域乗合タクシー、路線バス、 ハイヤー・タクシー等について検証	令和5年度については、ノッタラインを含め、交通機関全体の検証することができなかったことから、令和6年度以降に実施するよう、引き続き検討を行う。	D	○	○	○	○	○	○
	(4) アンケートBOX の設置	前回計画から継続して実施	月に1回程度用紙の回収を行う	月に1回程度用紙の回収を行い、アンケートの取りまとめを行った。	B						
	(5) 地域公共交通維持・ 改善に向けた新たな 調査票の検討	岩内町地域公共交通活性化協議会にて 新たな調査票について検討・作成	各停留所等に設置 随時、調査項目を検討	新たな調査票の検討・作成について、引き続き検討を行う。	C						
基本方針2	(1) 「バス・タク乗って ガイド（仮称）」 の作成	コンテンツの整理 ガイドの作成・広報周知	町HPにて周知、バスターミナル等に設置 ダイヤの変更等あれば、随時修正を行う	町内公共交通に関する情報を網羅的に示した、いわない公共交通マップ「いわナビ」を作成し、バスターミナルや公共機関等へ設置し、広報周知を図った。	A	○	○	○	○	○	○
	(2) 「バス・タクチャ レンジライド!! （仮称）」等の実施	各関係機関との連絡調 整	年1回程度実施、毎年度継続して行う	関係機関であるニセコバス(株)から、他町村の事例について情報提供をいただき、教育委員会と連携の上、令和5年度に実施した。令和6年度以降も継続した取組を行う。	B	○	○	○			
	(3) 有料広告の設置	情報収集（有料広告実施済みの町村等） 有料広告実施事業者の選定、依頼作業	いわない循環バス 「ノッタライン」 車内に設置	有料広告設置に向けた情報収集を引き続き実施する。	C	○					
	(4) キャッシュレス 決済の導入	各関係事業者と 検討・予算協議	町内全公共交通事業者にて設置開始	令和5年度については、予算協議等実施できなかったことから、令和6年度の実施に向け、財源については、デジタル田園都市国家構想交付金の活用を視野に入れ、現在、国に申請中である。	C	○	○	○	○		
	(5) 運転免許返納者 に対する取組の検討	各種取り組みの実施 結果は毎年度検証を行う		令和3年8月から事業開始し、交付実績は令和5年12月末時点で83件となっている。 (R3年度：35件、R4年度：27件、R5年度：21件)	B	○	○	○	○	○	○
	(6) ノーカーデー の推進	北海道の実施期間とあわせて実施。 広報誌や町HP等を活用して、町民に対して広く周知する		岩内町役場職員に対する周知は実施したことから、令和6年度以降は、広報誌や町HPでの周知を実施するよう取組を進める。	C	○	○	○	○	○	○

施策・事業	R3年度	R4年度	R5～R7年度	令和5年度の取組状況	事業の進捗状況 (A～Eの5段階)	関連する公共交通機関					
						ノッタ ライン	乗合 タクシー	路線バス	ハイヤー・ タクシー	自家用 有償運送	その他
基本方針3	(1) 商店街連合会との連携	前回計画から継続して実施 円山地域乗合タクシーが本格運行のタイミングで回数券を販売		ノッタライン回数券販売時におけるたら丸ポイントカードとの連携は継続して行っているが、円山地域乗合タクシーについては、令和6年度より連携する見込みである。	C	○	○	○	○		
	(2) 観光面におけるハイヤー・タクシーとの連携	コンテンツの整理 ガイドの作成	ガイドを観光施設に設置	町内公共交通に関する情報を網羅的に示した、いわない公共交通マップ「いわナビ」を作成し、バスターミナルや公共機関、宿泊施設等へ設置し、広報周知を図った。	A		○		○		
	(3) 既存施設との連携	前回計画から継続して実施 いわない循環バス「ノッタライン」等町内公共交通の停留所を選定する際、各施設と連携		各施設との連携を継続して行った。	B	○	○				
	(4) 地域公共交通活性化基金の設置	基金条例の設置 随時基金の受け入れ		令和3年3月に条例を設置済み。令和6年度においては基金積み立て実績は0件となった。	C	○	○	○	○	○	○
基本方針4	(1) 路線維持のための運行補助の実施	前回計画から継続して実施 運行補助を含め、新たな交通体系（ダウンサイジング等）についても検討		路線維持のための運行補助を継続して行った。	B			○			
	(2) 公共交通による市町村情報の発信	前回計画から継続して実施 いわない循環バス「ノッタライン」車内にて継続的に情報発信を行う		新型コロナワクチン集団接種の呼びかけなど、継続して情報発信を行った。	B	○					

【評価基準】
A・・・順調に推移している
B・・・ほぼ順調に推移している
C・・・やや遅延している
D・・・遅延している
E・・・達成困難